

第 2483 回例会 逗子ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2012-2013 No.43 2013 年 5 月 30 日



会 長◆岩瀬浩人
会長1外◆石田 隆
副会長◆山口 哲
松井一郎
幹 事◆山本三津子
S A A◆矢部光治
会 計◆市川 浩
直前会長◆三宅 謙
会報委員長◇臼井 浩

例会日：第 1・2・4 木曜日 12:30
第 3 木曜日 18:30
第 5 木曜日 18:00
例会場：「カンティーナ」
逗子市新宿 1-3-35
TEL：046-870-6440
事務所：逗子市逗子 1-9-26
萬屋ビル 2F
TEL&FAX：046-873-0226

本日の進行 (18:00)
社会奉仕フォーラム
「ビーチバレー10周年」
一回のお知らせ—
6月6日(木) 12:30
渡辺 洋氏(隣々会 会長)
「異業種交遊録」

E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp

Website: <http://www.zushi-rc.com/>

《第 2482 回 例会記録 2013 年 5 月 23 日》

出席報告	会員数 51 名(出席免除 6 名)	出席数 31 名	出席率 63.27%	前回修正出席率 65.31%
ゲストスピーカー	宇多川馨さん・小田まむやさん	メークアップ	臼井・鈴木(安)・松井・岩瀬・石田・山本(三)・岡本・村松	

会長の時間 岩瀬浩人会長

《妬む心を追いやり、つねに喜びの共有につとめる》

泣く人と一緒に泣くのはさほど難しくありません。テレビを見ているだけで、気の毒で泣けてくる事はいくらかでもあるからです。同情とか憐みの気持ちは、非常にもちやすいし、また人のことで泣くのは、その人よりも優位に立っている事ですから、優越感や安心感をもちやすい。つまり悲しみの共有は、想像以上に心地よいことなのです。

しかしこの心地よさは、けっしてその人を真の幸せに導くものではない。へたをすれば次には人にいっしょに泣いてもらう羽目になるかもしれません。というのは、たとえ人のことで泣いても、その悲しみの感情は自分のものだからです。難しいのは喜ぶ者と共に喜ぶことです。他人の幸福に対しては、妬む心を私達はもっています。自分がまだ達成していないことを、先に他人が達成したとすれば、敗北感も働きます。これらの心の状態では素直にいっしょに喜べません。

たとえば自分よりも先に課長になった同僚をみてあなたは どう思いますか。自分は不合格だったのに、友人が志望校に入れたとき、あなたはそれを素直に喜ぶことができるでしょうか。おそらく複雑な気持ちになることでしょう。では私達は どうしたらよいでしょうか。

人が喜ぶときに、いっしょになって心から喜べ、人が泣くときに心からいっしょに泣けるのなら、あなたは多くの人々の信頼的になり、すばらしい友人たちに取り囲まれて、満ち足りた日々を送れることでしょう。そのためには妬む心を捨てなければなりません、実際問題として、私達はそう簡単にそれを捨てる事は難しい。はたして嫉妬を自分の心から追いやめることは可能なのでしょうか。そのためには嫉妬とはどんな心の状態かを知らねばなりません。

私の考えですが、嫉妬の感情には傲慢、うぬぼれがまじっ

ています。なぜ自分ではなく、他の人間が先に課長になったか、なぜ、志望校に入学できたか。そこに理不尽さを感じるとしたら、それは「自分のほうがすぐれている」という気持ちの表れではないでしょうか。うぬぼれ、思い上がり、傲慢さがあるから、他人の喜びを自分の喜びにするのに抵抗が出てくる。またこの心の状態は、自分の心が「自分だけよければ良い」という自己中心的な欲に支配されていることから起きてきます。喜ぶ人と一緒に喜ぶとは、他人への祝福だけを意味するものではありません。喜ぶ人を祝福する心が、自分をも祝福しているのです。人を妬むことは、自分の心の中にある自分の望みを否定することになってしまいます。

皆様は、どう考えますか。人の性格形成にもかかわる重要なことです。一度考えてみてください。

報 告

岩手県里親会に 90 万円を寄付

4/26 開催 キマグレンチャリティーコンサートの益金を、23 日例会にて、岩手県里親会 高橋忠

美会長に贈呈。

当クラブには感謝状が送られた。

葉山在住の全国里親会星野会長も同席。





★立ち上げメンバー

小田まむや (2003年度、カナダ派遣：鎌倉 RC) それぞれ高校生の時に1年間
 石渡 雅大 (2003年度、ロシア派遣：藤沢 RC) 青少年交換学生として派遣された
 宇多川 薫 (2002年度、アメリカ派遣：茅ヶ崎湘南 RC)

組 織	ボランティアグループ 2011年4月 留学仲間との食事中にボランティアに行くことを決めた
名称の由来	頑張りすぎず、ぼちぼちと支援していく出来る人が出来る範囲で継続的に活動する ぼちぼちいこ <u>カー</u> =Car、カ
ビジョン	南相馬市のおじいちゃん、おばあちゃんから子供達までが笑顔でイキイキしていること
活動目的	震災の影響で離散した方々が誰かと再度つながるきっかけとなる場所をつくること
活動場所	牛越仮設住宅第3集会所 (約400世帯、一人暮らし、老夫婦、子供を含む家族、元農家で60代以上のお年寄りが多い)
活動内容	「交流ひろば」の開催 ※ ぼちぼちいこカーが作る人と人をつなげる場を「交流ひろば」と呼ぶ。
交通手段	10人乗りの普通車、またはマイクロバス (片道約400キロ、約7時間半掛けて移動)
参加費	3,000円
スケジュール	土曜日 06:00 逗子駅出発 14:00~18:00「交流ひろば」 日曜日 09:00~14:00「交流ひろば」 21:00 逗子駅到着・解散

★これまでの活動について(社協での活動→支援物資配布活動→「交流ひろば」:心のケア)

時 期	活 動 内 容
2011年4月~10月	ボランティアセンターでのボランティア作業に参加 写真の洗浄、支援物資の整理、側溝の泥だし等を行う
2011年11月~3月	仮設住宅や生涯学習センターで支援物資の「配布会」を企画、実施 アンケート調査の結果(2012年1月~4月実施:のべ1424名回答) 人と触れ合う場所、人が集まれる場所の必要性を感じた。
2012年4月~6月	生涯学習センターにて、「心を癒すお話し会」を開催 傾聴ボランティア、心のケア、人とつながりができる場所作りを活動の重点を置く
2012年7月~現在	「交流ひろば」開催 アロマハンドマッサージ/クラフト作り/肩もみ/足湯/紙芝居/太極拳

★今後の活動について(地元住民の方と一緒に新たな活動「畑プロジェクト」(仮称)へ)

これまでの活動を通して感じた問題点	仮設住宅の現状(仕事がない、家に帰れない)
解決策	「土いじり」を提案
期待される効果	からだを動かす機会ができる→廃用症候群解消へ 育てる楽しさで心が元気になる→心のケアへ ご近所同士の交流→コミュニティの再生

畑プロジェクトにより、最終的にはボランティアが介入しなくて現地の人たちだけで交流できるようになって欲しい。



宇多川 薫さん



小田 まむやさん



南相馬市の
お年寄りから子供達までが
みんな笑顔でイキイキしている環境作りを
目指します。

ご協力をお願い
大型バスの運転をお手伝いしてくれる方がほし
い

■ニコニコBOX 本日合計¥ 45.000 累計¥2. 314. 690

岩瀬君、石田君…岩手県里親会高橋様、全国里親会星野様、ようこそ。ぼちぼちいこカー小田様、宇多川様、よろしく。

山本(三)さん…ロータリー幹事の名刺も本日使い切り。後1か月、やれやれ。

市川君、毛利君、船津君、山口君、山本(由)君、岩佐君、服部君、手島君…宇多川様、よろしくお願いします。

川上君…宇多川様よろしく。一時的な金融市場の調整に注意。

臼井君…宇多川様、ありがとうございます。

村松君…震災支援の卓話楽しみです。よろしく申し上げます。

矢部(房)君…震災復興支援は重要です。宇多川さんよろしく。

寺嶋君…先週は地球の裏側のお話聞けて楽しかったです。本日も卓話を楽しみにしています。

福嶋君…岩瀬年度いよいよラストスパート、ドコニムチを入れるのか？

桐田君…やっと間に合いました。

岡本君…決定監査ももうすぐ終わりです。

岩堀君…30 数年ぶりにゴルフを始めました。早く皆さんとご一緒出来るよう、頑張ります。

安藤君…自民党本部で川村選対委員長の話を聞いてきました。

松井君…三浦雄一郎、本日正午頃 8848m エベレスト世界最高齢 80 才、登頂成功！

山科君…80 才でエベレスト登頂、刺激になります。

矢部(光)君…目に青葉 山ほととぎす 初鯉。好季節の中、孫娘の最後の体育祭学年対抗リレーに感動！

鈴木(久)君…爽やかな良い季節になりました。

長野君…本日も どこまで上がる 気温に株価。

田中君…逗子の夏 花火と共に やって来る。

草柳君…本格的な夏到来、逗子・葉山の盛り上げを皆で考えましょう。

桐ヶ谷君…元気です。